

和寒野球スポーツ少年団 初戦を突破し 全道ベスト8



和寒野球スポーツ少年団（西田陽司監督、団員13名）が「高円宮賜杯 第38回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント北・北海道大会」に名寄支部代表として出場しました。

和寒町野球連盟から、全道大会出場を記念して応援旗が贈呈されました（7月13日）

1回戦

北光	2	0	0	2	2	0	3	9
和寒	2	5	3	1	0	0	×	11

2回戦

愛宕東	1	0	0	1	0	0	3	5
和寒	0	0	0	0	0	0	0	0



和寒野球スポーツ少年団 登録選手

	氏名	学年
監督	西田陽司	
主将	池澤琉生	6
	池澤巴琉	6
	乗田幸士朗	6
	半澤理玖	6
	牧将多	6
	川江空汰	5
	瀬戸証士	5
	牧寿也	5
	諸岡洸佑	5
	吉原舜之助	5
	藤原颯良	4
	細川皓生	4
	村岡結也	4

7月14日北・北海道各支部代表の16チームが結集した初戦は、北見支部代表の北光クラブとの対戦。初回到2点を先制された和寒は、その裏同点に追いつくと、2回裏の攻撃で打線が繋がりに、牧将多くん（6年）のタイムリーヒット、続く諸岡洸佑くん（5年）の3塁打で3点、さらに半澤理玖くん（6年）のタイムリーで2点を追加。その後両チーム点を取り合い11対6で迎えた最終回、3点を奪われ2点差となり、さらにピンチが続いたが、最後はファースト乗田幸士朗くん（6年）がフライをキャッチして11対9で勝利しました。

翌日の試合は雨天順延となり、迎えた16日の準々決勝は旭川支部代表の強豪、愛宕東スーパースターズと対戦。初回と3回に1点を取られるも、再三のピンチを池澤琉生くん（6年）、池澤巴琉くん（6年）の兄弟バッテリーを中心とした固い守りでしのいでいきました。和寒も攻撃で一打同点のチャンスをつくるがものにできず、2対0で迎えた最終回。愛宕東の攻撃で2アウトから3点を取られ、5対0で敗れてしまいました。

試合後、西田監督は、「完敗だったが、ナイスゲーム。全国大会出場という目標は果たせなかったけれど、この目標は後輩達にたくし、また次のステージに向かって頑張りましょう。」と声をかけた。子どもたちは悔しさで涙がとまりませんでした。そこには戦いの中でひとまわり成長した姿がありました。よくやったぞ！和寒野球スポーツ少年団！

